

令和 2 年 度

鹿屋市基金運用状況審査意見書

鹿屋市監査委員

鹿屋監第15号
令和3年7月7日

鹿屋市長 中西 茂 様

鹿屋市監査委員 大 菌 純 広
同 池 田 潤
同 東 秀 哉

令和2年度鹿屋市基金運用状況の審査意見について

地方自治法第241条第5項の規定により、審査に付された令和2年度鹿屋市基金の運用状況を示す証書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出します。

目 次

令和2年度鹿屋市基金運用状況審査意見

1	鹿屋市監査委員監査基準に準拠している旨	1
2	審査の種類	1
3	審査の対象	1
4	審査の着眼点	1
5	審査の主な実施内容	1
6	審査の日程	1
7	審査の結果	1
	(1) 鹿屋市土地開発基金	2
	(2) 鹿屋市国民健康保険高額療養資金貸付基金	2
	(3) 鹿屋市肉用牛導入事業基金	2
8	審査の意見	2

令和2年度鹿屋市基金運用状況審査意見

第1 鹿屋市監査委員監査基準に準拠している旨

監査委員は、鹿屋市監査委員監査基準（以下「監査基準」という。）に準拠して審査を行った。

第2 審査の種類

地方自治法第241条第5項の規定に基づく審査

第3 審査の対象

鹿屋市土地開発基金

鹿屋市国民健康保険高額療養資金貸付基金

鹿屋市肉用牛導入事業基金

第4 審査の着眼点

鹿屋市監査委員監査実務第11条別表監査等の着眼点（第9節 基金の運用状況審査）

第5 審査の主な実施内容

審査に付された基金の運用状況を示す書類の計数を関係諸帳簿及び証書類と照合し、計数は正確であるか、基金の運用は設置目的に沿って運用されているか、運用方法・手続きは適正かなどの着眼点に基づき関係職員の説明を求めながら実施した。

第6 審査の日程

令和3年5月10日から令和3年7月7日まで

第7 審査の結果

審査に付された基金の運用状況を示す書類の計数については、監査基準第22条第1項第1号から第6号までの記載事項のとおり審査した限りにおいて、各基金とも正確であると認められ、近年において運用されていない状況が続いている鹿屋市土地開発基金を除くと、基金の運用はおおむね確実かつ効率的に行われている。

なお、各基金の運用状況については、以下のとおりである。

【運用状況】

(1) 鹿屋市土地開発基金

土地開発基金は、基金の額が720,000,000円で、前年度末現在高は現金720,000,000円であった。年度中の運用はないため、年度末現在高は前年度末現在高と同額となっている。また、基金から生じた預金利子587,000円は、一般会計に収入されている。

なお、平成26年度から基金の運用実績がない状態である。

前年度末現在高		年度中運用状況	年度末現在高	
現金	720,000,000円	物件購入及び債権(貸付) 0円	現金	720,000,000円
土地	0円	物件譲渡及び債権(返還) 0円	土地	0円
計	720,000,000円		計	720,000,000円

(2) 鹿屋市国民健康保険高額療養資金貸付基金

国民健康保険高額療養資金貸付基金は、基金の額が 30,000,000円で、前年度末現在高は現金 28,635,756円、貸付金 1,364,244円であった。年度中の運用状況は、貸付金 27,334,025円、償還金 25,090,265円で、年度末現在高は現金 26,391,996円、貸付金 3,608,004円で、基金の額に対する当年度貸付額の回転率は 0.91回となっている。また、基金から生じた預金利子 20,217円は、一般会計に収入されている。

前年度末現在高		年度中運用状況	年度末現在高	
現金	28,635,756円	貸付金(207件) 27,334,025円	現金	26,391,996円
貸付金	1,364,244円	償還金(199件) 25,090,265円	貸付金	3,608,004円
件数	15件		件数	23件
計	30,000,000円		計	30,000,000円

(3) 鹿屋市肉用牛導入事業基金

肉用牛導入事業基金は、前年度末現在高は 109,282,266円(現金 75,869,034円、貸付牛61頭 33,413,232円)であった。年度中の運用状況は、貸付牛40頭 23,876,684円、譲渡牛4頭 1,935,000円、繰入金 21,000円で、年度末現在高は 109,303,266円(現金 53,948,350円、貸付牛97頭 55,354,916円)となっている。また、基金から生じた預金利子 21,000円は、一般会計に収入され、本基金に繰り入れられている。

なお、貸付期間が満了した貸付家畜7頭の譲渡対価 1,707,800円が納付されていない状況である。

前年度末現在高		年度中運用状況	年度末現在高	
現金	75,869,034円	貸付牛 40頭 23,876,684円	現金	53,948,350円
貸付牛 61頭	33,413,232円	譲渡牛 4頭 1,935,000円	貸付牛 97頭	55,354,916円
計	109,282,266円	一般会計からの繰入金 21,000円	計	109,303,266円

第8 審査の意見

定額の基金については、運用の実績を踏まえ、基金の額や基金の在り方及びその必要性等を十分検証し、それぞれの基金条例に基づいて適正かつ効果的な運用に努め、一層の効果を上げるよう努められたい。

また、滞納債権のある基金については、積極的かつ効果的な収納対策に取り組み、収入未済額の縮減を図られたい。